

# 諏訪市

ニュース

諏訪市の動き

市民新聞グループ  
 諏訪市民新聞  
 〒392-0016  
 諏訪市豊田文出1153-3  
 ☎0266-52-3400  
 FAX57-0117  
 www.shimin.co.jp  
 E-mail  
 suwa@shimin.co.jp

市美術館

## 若手の情熱 きらめく才気

### 「シンビズム」南信会場が開幕

#### 県ゆかり5作家が写真など80点

県芸術監督団事業として県内4会場で開催する「シンビズム」信州ミュージアム・ネットワークが選んだ20人の作家たち(県文化振興事業団、県主催)が24日、南信会場となる諏訪市の市美術館で始まった。同館では、県内ゆかりの若手5作家が情熱を注ぎ込んだ写真、版画、日本画、染色の80点を3月18日(日)まで紹介する。

北海道苫小牧市出身 安曇野市は、春夏 点の写真で、崇高な姿の高橋広平さん(40) 秋冬の雷鳥を追った46 を捉えた。

茅野市出身の阿部祐己さん(33) 東京都は、霧ヶ峰高原をテーマにした、霧火入れ神事などの写真を通じて、積み重ねた歴史の重みを表現する。

南信会場の作家たち(左から阿部さん、高橋さん、常田さん、中村さん、藤沢さん)



下諏訪町出身で東京都在住の常田泰由さん(37)は、鮮やかでリズムカルに表現した版画。同じく同町出身、東京在住、

日本画の中村恭子さん(36)の作品では、高県の「皿鉢(さらち)

絵」をテーマにした長さ14分の巻物が目を引く。大皿の盛り合わせ料理に登場する小動物のおどけた姿を通して、人が口に運ぶ行為を浮かび上がらせた。染色の藤沢まゆさん(31) 名古屋市は伊那市高遠町出身。馬や象、チョウ、植物などを組み合わせたインスタレーション「菜園」は、「報われない生き物たちのための報われる場所を作りたい」との思いを込めた。午後には阿部さんが

冬の諏訪湖や霧ヶ峰などを撮影した作品を紹介しながら解説する「スライド上映会とトーク」もあった。期間中はきょう25日のほか、3月4日(日)、18日(日)午後1時半から高橋さんのギャラリートーク。同4日(日)には常田さんも登場(時間未定)する。同11日(日)午後1時半には、作家と本江監督、学芸員たちのギャラリートークもある。

入場無料。問い合わせは同館(電52・1217)へ。を図るため、2015年度から芸術監督団事業を進めていて、展覧会は初の取り組み。美術分野の芸術監督である多摩美術大学教授の本江邦夫さんと信州ミュージアム・ネットワーク所属の学芸員たちが作家を選定した。同館のほか、丸山晩霞記念館(東御市)、御料館(木曾町)、信州新町美術館(長野市)でも開く。